

桃中軒雲右衛門
百回忌記念

100



「安兵衛と新発田」 国本武春浪曲公演

2015.11/7(土) 午後2時開演

会場 長徳寺 (新発田市大栄町 2-7-22)

※会場に駐車場はありません。お近くの駐車場をご利用ください。

料金 前売 2,000円 当日 2,500円

発売 新発田市観光協会 TEL0254-26-5031

問合せ 国本武春新発田公演実行委員会
TEL090-1898-5107 または
TEL090-2733-3568

イベント 修復された義士人形特別公開

【10:00～16:00 長徳寺義士堂】※武庸会・修復師らによる解説あり。

— 解説は 11:30、12:30、13:30 の 3 回実施 —

長徳寺・義士堂と 浪曲師・桃中軒雲右衛門

明治45年5月10日、浪曲師・桃中軒雲右衛門（とうちゅうけんくもえもん）が堀部安兵衛（ほりべやすべえ）の生誕地・新発田を訪れた。堀部安兵衛は「忠臣蔵」で名をかせた赤穂四十七士のうち随一の剣の達人である。また、雲右衛門は、思想家・頭山満（とうやまみつる）、後に中央義士会を創設した福本日南（ふくもとにちなん）らの支援で、赤穂四十七士の武勇を活写した『義士銘々伝』を完成させた浪曲界中興の祖である。

堀部安兵衛の父・弥次右衛門（やじえもん）の眠る長徳寺を訪れた桃中軒雲右衛門は安兵衛手植えの松の前で記念写真を撮り、雲右衛門の自宅・福岡に秘蔵する赤穂四十七士の木像の寄贈を申し出た。そして大正2年2月4日、新発田で安兵衛を顕彰する『武庸会（たけつねかい）』が発足し、同4月16日に木像が新発田に到着した。昭和4年4月3日、赤穂四十七士の木像を納める『義

士堂』が完成した。『義士堂』内部の格天井には、第十三代新発田藩主溝口直亮（みぞぐちなおよし）公の書をはじめ、會津八一、相馬御風などの書画も納められている。

新発田に『武庸会』が出来たのも『義士堂』が出来たのも雲右衛門のお蔭であるが、今年はその雲右衛門の百回忌にあたる。堀部安兵衛を顕彰するとともに桃中軒雲右衛門との数奇な縁に感謝する意味で今回、雲右衛門直系の浪曲師・国本武春氏による雲右衛門追善浪曲公演を開催する。

※堀部安兵衛は新発田外ヶ輪で生まれ、元禄7年の『高田馬場の助太刀』で名をあげて浅野内匠頭（あさのたくみのかみ）に仕えた。しかし、浅野内匠頭は江戸城松之廊下での刃傷を理由に切腹、安兵衛ら赤穂四十七士は主君の仇（かたき）を討つために、元禄15年12月14日吉良上野介（きらくさうすけ）邸に討ち入った。



桃中軒雲右衛門
百回忌記念

100

国本武春【くにもとたけはる】

PROFILE

浪曲師。1960年千葉県生れ。父は天中軒龍月、母は国本晴美、両親共に浪曲師。19歳で名曲師（浪曲伴奏者）東家みさ子に浪曲三味線を師事、20歳で東家幸楽（紫雲寺出身）に入門、浪曲師となる。1982年上野本牧亭で初舞台。浪曲中興の祖、桃中軒雲右衛門の直系であり、雲右衛門から続く『忠臣蔵』ものの『義士銘々伝』は国本武春のライフワークである。

古典浪曲のみならず、1987年頃から三味線にギターのフレーズを取り入れた独自の三味線奏法を使い、『忠臣蔵』『民話・昔話』の新たな“弾き語りスタイル”を確立、オリジナル作品を創作する。2000年に宮本亜門演出ブロードウェイ・ミュージカル『太平洋序曲』に主演、また音楽と語りを担った短編アニメ『頭山』は米国アカデミー賞にノミネートされる。古典浪曲、弾き語りライブ、観客養成講座、日米でのブルーグラス・ミュージック公演、三味線ワークショップ、テレビ、ラジオ出演と多方面で活動、NHKの子ども番組にも出演中。新発田では平成25年11月4日『安兵衛芸術祭』に出演、古典浪曲『殿中刃傷～田村邸』『南部坂雪の別れ』、新曲『堀部安兵衛』を披露し、喝采を浴びた。

2000年度第50回芸術選奨文部大臣新人賞、2002年度国立演芸場花形演芸大賞大賞など受賞多数。日本浪曲協会副会長。CDに『国本武春 古典浪曲傑作撰（南部坂雪の別れなど）』第1～4集、『大忠臣蔵』など（詳細は「武春堂」で検索を）。

※曲師の沢村豊子は1937年福岡県生まれ。12歳で名曲師山本艶子に師事。17歳で浪曲師国友忠の三味線を担当。以来、三波春夫、村田英雄、二葉百合子等の伴奏をつとめる。音締めの良いと的確な技術を持つ当代随一の曲師である。DVDに『浪曲三味線 沢村豊子の世界』など。



右端が雲右衛門